

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会
令和6年度第14回理事会報告

- 日 時：令和7年3月13日(木) 13:00—16:20
○場 所：JSOSビル3F会議室5 及びZoom
○出席者：蛭田会長、古賀・吉田各副会長、小野寺専務理事、赤尾事務局長、野村・町田各常務理事、小高・小田部・栗田・佐藤・島田・中島・中橋・西谷・畑中・前田・望月・安井各理事 以上19名
佐久間監事、古屋監事 以上2名
○欠 席：杉本・濱田・樋口・平田各理事 以上4名

1. 開 会

2. 蛭田会長からの挨拶

ジャパンカップは無事終了しました。今期は残りの事業を、予算内に収まるようお願いします。

3. 会議成立状況報告

理事数 開始時23名中19名出席(定款第33条、定足数=12名(1/2超))

監事数 2名出席

4. 議長選出

蛭田会長が議長を務める。(定款第32条)

5. 議事録署名人

会長及び監事(定款第34条)

6. 議 題 (注. 審議順に記載)

議案第1号 議事録の承認について(前回第13回の議事録について)

全員承認済となった。

議案第2号 令和7年度取り組み及び予算の承認について

小野寺専務理事が配布資料(取り組み)の説明をし、内容の変更が必要であれば、事務局あて連絡をしてほしい旨伝えた。

蛭田会長が、来期予算については本日の決議が難しいので、3月24日もしくは25日PM7:00-PM9:00まで理事の都合を確認した。

3月24日15名、25日9名が参加可能との意見から、臨時理事会を3月24日PM7時から行うことになった。

議案第3号 新役員選考について

蛭田会長が、提出の締切が3月10日まで延長され、28名の書類が提出されていることを伝えた。役員選考委員会が今後開催される予定。

議案第4号 「そうよそうなの遭難よ」について

小野寺専務理事が、当内容は、コロナの前にJMSCAがオリジナルで作成したこと、神奈川県山岳連盟から見積もり(約180万円)が提示されていて、開始日は、JMSCAから伝達し、使用開始日から1年間使用できることを補足した。

実施する場合には、効果的なアナウンス方法と、時期を検討してほしい、開始は、延ばせられるなら伸ばしてほしいという声もあり、登山部会で協議し、見解をだすことの賛否を取り、以下のように承認された。

反対 0名、 棄権 0名、賛成 19名

議案第5号 SC競技規則について

町田SC部長、畑中理事が、変更内容の説明をした。

IFのルールに沿った人数、年代の変更が主な変更点で、協議が必要な内容の変更はないと補足説明があり、以下のように異議なく承認された。

反対 0名、 棄権 0名、賛成 19名

議案第6号 SC指導員規約改定について

野村常務理事が、配布資料を基に説明し、当規約の変更を提案した。

1. 従来、”常務理事会”で改廃可能としていたが、”理事会”に変更
2. コーチ3を受けられる条件を一時的に変更した(救済措置をとった)が、本来の内容の規約に変更

上記の変更について、異議なく承認された。

反対 0名、 棄権 0名、 賛成 19名

議案第7号 資金繰りについて

赤尾事務局長が、3月初の時点のキャッシュフロー状況の説明をした後、3月末と、4月以降の資金状況の説明をした。3月末までに調達する資金について1. スキーモの強化資金増による銀行借入 2. 日山協共済会から借入 3. 篤志家から借入等の対応を予定したいと提案した。

3月に上記借り入れをすること、上記借入ができず、他の対応をとる必要が出た場合には、別途三役会議、常務理事会で対応することについて決議をとり、異議なく承認された。

反対 0名、 棄権 0名、 賛成 19名

(その他意見)

- 他の資金調達方法がないか、検討してほしい。
- 今期は、収支が赤字にならないように対応してほしい。
- 種々の事業資金は、一部概算払いで、資金の一部が、前倒しで入金されるが、事業が完了し事業費を全部支払った後に、精算払いで残りが入金されるという仕組みになっている。その間の運転資金が必要となり、上記のような資金不足となった。
- 資金不足は一時的なもの、現時点では、今期決算が収支マイナスや、債務超過であるわけではないことを理事の方々は理解しておいていただきたい。

議案第8号（追加）SC 技術委員会ユニフォームの購入について

町田 SC 部長が、技術委員会公認審判員のユニフォームを購入する背景を説明し、今月中に発注が必要なこと、一着 4000 円で販売予定。完成は 4 月以降であること、補正予算として加えたいこと、ただし、前払いで 3 月中に入金（500,000 円）が必要であること等の補足説明をした後に、採決を取り、以下のように、異議なく承認された。

反対 0名、 棄権 0名、 賛成 19名

7. 報告

報告第1号 月次報告、キャッシュフロー（割愛）

報告第2号 スポンサー様との覚書について

町田 SC 部長が、配布資料を基に、当該スポンサーとの覚書について説明した。JMCA に対して要望したいこと（国内ユース大会に関わる活動、代表に関わる活動等）の中に、SNS への投稿要求として、指定媒体と回数もあり、4 半期毎の報告を求めている。当件については、承認議案として採決を取り、以下のように異議なく承認された。

反対 0名、 棄権 0名、 賛成 19名

報告第3号 JOC コーチについて

安井理事が、当該コーチ設置事業の概要説明を行い、常務理事会で

自身が、ハイパフォーマンスディレクター（メダル獲得の責任者）として承認されたことを報告した。

また、今後、SC部、登山部（3月18日予定）からの推薦を得て、他のコーチの申請予定（3月19日）であることも伝えた。

島田理事が中心になり、4半期ごとのコーチ実績報告をまとめている。コーチの人選について可視化がされ、規程等ができるとなお良いとの意見が出た。

15:05～15:10 休憩

- 報告第4号 オリエンテーリング協会からの外部理事招請について
小野寺専務理事が、標記についての依頼が来たことを説明した。
6月からで良いのかどうか、JMSCA理事にこだわるのかどうか等を先方（村越氏）に確認し、登山部の野村部長に判断を委ねる事になった。
- 報告第5号 ルートセッター資格承認について
小野寺専務理事が、対象者リストを画面に表示し、常務理事会で承認されたことを報告した。
さらに、中橋理事が以下の補足説明をした。
- 公認ルートセッター：高所作業を含み安全にセットができること
- C級ルートセッター：公認ルートセッター取得後になれるが、従来より、質が高い認定レベルになっていること
- A, B級ルートセッターは国内競技に限定されること
- 報告第6号 事務局 JSOS 内移転について
赤尾事務局長が、2月22日に807→905に予定通り移転したことを報告した。今後、場所が狭くなったので、ポスター配布や、ユニフォーム受取+発送、テキスト配布は外部倉庫で行う予定。
登記簿上” JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE” 以下の部屋番号は記入しないが、郵便物の宛先には、” JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 905” と部屋番号を記入するよう伝達した。
- 報告第7号 「山の知識検定」後援名義申請について
小野寺専務理事が、常務理事会で承認されたことを報告した。
- 報告第8号 登山・SC指導員認定承認について
小野寺専務理事が、常務理事会で承認されたことを報告した。
- 報告第9号 「京の子供ダイヤモンドプロジェクト」協力名義後援について
小野寺専務理事が、常務理事会で承認されたことを報告した。

報告第10号 事務局体制の現状について

赤尾事務局長が、現状の事務局人員と、各職員が、何の業務を行っているかを個々に説明した。

報告第11号 UAAA 総会（モンゴル）（6・19－22）について

小野寺専務理事から上記日程で行う予定であることを説明した。
（神崎顧問、田中名誉会長が参加予定）

報告第12号 九州SCカップについて（旧 にしけいカップ）

小野寺専務理事が、常務理事会で公認の承認がされたことを報告した。

報告第13号 リード日本代表選手選考について

安井理事が、リストを基に対象者の説明をしたのち、小野寺専務理事が、常務理事会で承認されたことを報告した。

8. その他

1. 日本パラクライミング協会との関係について

一度JMCAに協力の依頼があったが、日本パラクライミング協会内で再検討することになった。その後、日本パラクライミング協会代表より、20以上加盟団体がないと上部団体へ参加できないという連絡を受け、あらためてJMCAを通しての関係の再検討を依頼された。

いつまでに、何をしてほしいのかを明確にしたうえで、理事会に諮りたい。
（名義貸しとのことだが、詳細希望を明確にしたうえで協議する。）

2. 月報配布方法変更案について（追加）

前田理事が、画面から、”賛助会員向け案内（基本配布停止）文面（案）と、”登山月報購読者向け案内（有償）の文面（案）を表示し、内容について、賛否を取り異議なく承認された。

また、有料で配布を希望する個人向けの有償費用は、別途事務局と協議、決定することについても異議なく承認された。

3. 国スポブロック大会での得点の決定方法、選出について

ボルダーは得点による。リードは今まで通り。

新規規定を見たうえで、質問等があったら、別途確認していただく。当変更は、4月に正式に公開される予定。

4. メディアブリーフィングについて

現在、小野寺専務理事、安井理事で対応しているが、各社スキーモ対応担当者が任命され、スキーモ関係の質問が多くなるので、今後、小田部理事に参加してもらうことになった。

令和7年3月13日

記録 赤尾 浩一

議事録署名人

会 長 _____

監 事 _____

監 事 _____

以 上